仙台市天文台のビジョンと戦略目標、戦略、評価指標
（2017－2019年度）

資料 3-1

ビジョン	戦略（重点）目標		戦略		評価指標	目標	実績			達成度	業務区分
							2017年度	2018年度	2019年度		
We ♡ 宇宙	A	ロマンをリアルにする天文台へ （市民A→市民B）	1	天文学・サイエンスコミュニケーションの職員研修の機会を積極的に作ります	研修回数	1回/人・年					マネジメント
			2	VIを効果的に活用し、宇宙の魅力を発信します	VIを活用した取組み件数	1件/年					活用促進
			3	学校現場と連携し、子どもが天文を学ぶ機会を積極的に作ります	連携校数	1校/年					教育支援
			4	天文学を学べる機会を提供します	展示解説やワークショップなど展示交流プログラムの新規題材数	10件/年					天文普及
					天体観望会に関わる新たなプログラムの開発数	3件/3年					
					望遠鏡等の観測機材を使用した基礎的な講座の開催回数	1回/年					
					天文学をテーマとしたプラネタリウムのプログラム開発数	1件/年					
					宇宙に関する講演会の開催回数	4回/年					
					市民B向けの天文情報提供に関する企画数	2件/年					天文普及・広報
			5	広報戦略を策定し、市民Bを対象とした事業の広報を強化します	市民Bを対象とした事業の広報件数	7件 /各事業					広報
			6	受付スタッフもお客様と宇宙・天文情報を共有するために、天文知識の向上に努めます	研修回数	6回/年					窓口
			7		宇宙・天文に興味を持った市民の割合（市民Bの割合）	―					マネジメント
	B	市民の宇宙への探究心を支援する天文台へ （市民B→市民C）	1	研究・実践紀要に市民観測員または共同観測者の発表を掲載します	掲載数	1件/年					マネジメント 観測研究
			2	天文愛好家や学校などの天文サークルおよびサポーターのスキルアップなど生涯教育に関わる活動や交流の場を提供します	提供回数	30回/年					教育支援
			3	観測方法を知る機会を提供します	望遠鏡等の観測機材を使用した応用的な講座の回数	1回/年					天文普及
					観測天体の公開数	3天体/年					観測研究
					天体の撮影情報を記した資料のwebでの公開件数	20件/年					資料収集
			4		宇宙・天文に関して自主的に活動している市民の数 （市民Cの人数）	―					マネジメント